

MIKIMOTO 第61回 日本赤十字社 献血チャリティ・コンサート New Year Concert 2020

【出演者プロフィール】

● 沼尻竜典（指揮） Ryusuke NUMAJIRI, Conductor



びわ湖ホール芸術監督、トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア音楽監督。

1990年ブザンソン国際指揮者コンクール優勝。ロンドン交響楽団、モンリオール交響楽団、ベルリン・ドイツ交響楽団、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、フランス放送フィルハーモニー管弦楽団、トゥールーズ・キャピトル管弦楽団、ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ交響楽団、トリエステ歌劇場管弦楽団、シドニー交響楽団等欧米各国のオーケストラを指揮。国内ではNHK交響楽団を指揮してのデビュー以来、新星日本交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、群馬交響楽団、日本センチュリー交響楽団、リユーベック歌劇場音楽総監督のポストを歴任。

ストを歴任。

1995年、自ら結成したトウキョウ・モーツァルトプレーヤーズ（現トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア）と共に、三鷹市芸術文化センターを拠点に活動を開始。「ベートーヴェン交響曲全集」をはじめ数々の録音も高く評価されている。オペラ指揮者としては1997年に《後宮からの誘拐》でデビュー、近年では、ケルン歌劇場、バイエルン州立歌劇場、ベルリン・コーミッシェ・オーパー、バーゼル歌劇場、シドニー歌劇場等へも客演。また、びわ湖ホール、リユーベック歌劇場でも数々のプロダクションを成功に導いている。2011年にはサイトウ・キネン・オーケストラへデビュー、バルトーク《中国の不思議な役人》で成功を収めた。

2014年1月にはオペラ《竹取物語》を作曲・世界初演、国内外で再演されている。

2017年紫綬褒章受章。

● 神尾真由子（ヴァイオリン） Mayuko KAMIO, Violin



4歳よりヴァイオリンをはじめ。2007年に第13回チャイコフスキー国際コンクールで優勝し、世界中の注目を浴びた。ニューヨーク・タイムズ紙でも「聴く者を魅了する若手演奏家」「輝くばかりの才能」と絶賛される。国内の主要オーケストラはもとより、チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団、バイエルン州立歌劇場管弦楽団、ロシア・ナショナル・フィルハーモニー交響楽団、BBC交響楽団などと共演。

近年では、ズービン・メータ指揮ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団と南米ツアー、ルドヴィク・モルロー指揮イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団とイスラエルツアーを行った。サン・モリッツ、コルマル、ヴェルビエなどの著名フェスティバル、ニューヨー

ク、ワシントン、サンクトペテルブルグ、モスクワ、フランクフルト、ミラノなどでリサイタルを行っている。

これまで里屋智佳子、小栗まち絵、工藤千博、原田幸一郎、ドロシー・ディレイ、川崎雅夫、ザハール・ブロンンの各氏に師事。楽器は宗次コレクションより貸与されたストラディヴァリウス1731年製作「Rubinoff」を使用している。

大阪府知事賞、京都府知事賞、第13回出光音楽賞、文化庁長官表彰、ホテルオークラ音楽賞はじめ数々の賞を受賞。

●東京都交響楽団（管弦楽） Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra



東東京オリンピックの記念文化事業として1965年東京都が設立（略称：都響）。現在、大野和士が音楽監督、アラン・ギルバートが首席客演指揮者、小泉和裕が終身名誉指揮者、エリアフ・インバルが桂冠指揮者を務めている。

定期演奏会などを中心に、小中学生への音楽鑑賞教室（50回以上／年）、青少年への音楽普及プログラム、多摩・島しょ地域での出張演奏など多彩な活動を展開。

CDリリースは、インバルによる『マーラー：交響曲全集』のほか、交響組曲『ドラゴンクエスト』（全シリーズ）や『Fate/Grand Order』などのゲーム音楽まで多岐にわたる。

これまで欧米やアジアで公演を成功させ、国際的な評価を得ている。2015年にはベルリン、ウィーンなど5ヶ国6都市をめぐるヨーロッパ・ツアーを行い、各地で熱烈的な喝采を浴びた。

“首都東京の音楽大使”として、来たる東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、文化芸術の活性化と気運醸成を図っている。

公式WEBサイト <https://www.tmsso.or.jp/>